

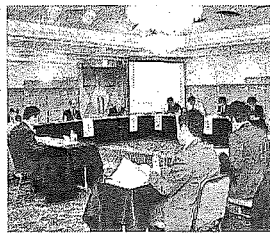


地域NEWS

天竜川ダムの再編事業協議

浜松河川国道

国土交通省浜松河川国道事務所は2日、天竜川ダム再編事業について協議する「第4回恒久堆砂対策工法検討委員会」を浜松市内で開いた。国交



省職員や大学教授ら有識者が出席した。写真。委員長を務める京都大学の角哲也教授は「時代の要請を受けダムを長く賢く使っていくための事

業。国家的なプロジェクトであり、世界的にも注目されている」とあいさつ。議事では堆砂対策量や工法の実行可能性調査、今後の検討事項などを協議した。天竜川ダム再編事業は、堆砂対策を実施し佐久間ダムへ洪水調整機能を新たに設けるもの。土砂移動の連続性を確保すること、遠州灘の海岸侵食抑制が期待される。

この記事・写真等は建通新聞社の許諾を得て掲載しています。